

【美里町】外国人児童生徒等受入拡大対応事業の成果イメージ

1 事業の目的

町立小中学校に就学している外国人児童生徒及びその保護者（以下、外国人児童生徒等）の学校生活を支援するため、アドバイザーやサポーターの派遣を受けることにより、学校の支援体制構築を図り、もって、外国人児童生徒等への教育支援を充実させることを目的とする。

2 美里町の現状と課題

- （１）日本語を母語としない外国人児童生徒の増加（主な母語：中国語、ネパール語、ウルドゥー語、パシュトゥー語）
- （２）外国人児童生徒の国籍・言語の多様化に伴う教育支援の困難化
- （３）外国人児童生徒の保護者に対する連絡・面談・書類の記入における支援の必要性
- （４）国籍・言語の多様化に伴う文化的な背景を考慮した支援やメンタル面でのサポートの必要性
- （５）外国人児童生徒の支援・指導に関わる教員等の負担の増大

3 事業の概要

本事業では、アドバイザーやサポーターの派遣を受けることにより、学校の支援体制を構築していく。

- （１）教員の負担軽減に係る支援：「特別の教育課程」の編成や日本語指導について助言を受ける。
- （２）児童生徒への支援：サポーターによる授業支援や別室での個別指導を実施する。
- （３）保護者への支援：学校と保護者との面談の際、サポーターによる通訳や会話の支援を行う。

4 事業展開のポイント

- （１）実態把握：学校・アドバイザー・サポーターが把握した子供の実態（就学経験・日本語の理解度・母国の文化等）を共有する。
- （２）アドバイザーによる助言の活用：指導教員にとって負担の少ない指導・支援方法を確立する。
- （３）サポーターによる支援の活用：サポーターの支援を活用しつつ、外国人児童生徒にとって教育を受けやすい環境を確保する。